

平成28年度 上田南幼稚園 「園の自己評価および園関係者評価」

1. 園の教育目標

「体を動かすことで人間は育つ」を基本に据え、外遊びを豊富に行う活動「歩育」・「運動遊び」を通じ、心身共に逞しい子を育てる。

2. 本年度の重点目標

- ①挨拶は、コミュニケーション最初の入り口。自ら進んで挨拶ができるよう取り組んでいます（挨拶名人のバッジや保育者の関わり）
- ②お友だちと元気に仲良く遊べる子どもの育てるため「歩育」・「運動遊び」を重点として実施し心身の成長を促します
- ③友だちに優しく接することが出来る子どもの育成のため、読み聞かせを多く行うことで、情緒の安定を図ります

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・外部の方は様々な噂を信じたりすることがあるので、園での取り組みや様子をわかり易く発信していくことが大切である
- ・子どもも保護者も安心して通えるということが大切なので、今後も職員の資質や子どもへの接し方頑張ってほしい

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・園児募集の観点から来年度は大勢集まっており、園の取り組みがしっかりしていたのではないかと感じる。今後も、地域のみならず皆さんに信頼される幼稚園を作ってほしい